2018 年度第 4 回・2019 年度第 1 回合同評議員会議事概要

日時：2019 年 4 月 6 日（土） 13：00−16：30
場所：東京大学本郷キャンパス 化学本館 4 階講義室

出席者※：雨宮慶幸 [a,b], 植草秀裕 [a,b], 海野昌喜 [a,b], 大原高志（庶務幹事）[b], 岡崎伸生（情報幹事）, 尾関智二（監査役）[a,b], 上村みどり [a], 神山　崇 [a,b], 久保田佳基 [a,b], 熊坂　崇 [a,b], 栗栖源嗣（監査役）[a], 小松一生（会計幹事）, 坂田修身（行事幹事）[a,b], 佐藤　衛 [b], 清水敏之 [a,b], 菅原洋子（会長）, 杉本邦久（広報幹事）, 杉山和正 [b], 高田昌樹 [a], 玉田太郎（男女共同参画推進幹事）[a,b], 藤間祥子 [b], 中川敦史 [a,b], 西堀英治 [a,b], 禾　晃和 [a,b], 松村浩由 [a,b], 三木邦夫 [a,b], 宮原郁子（編集幹事）[a,b], 森吉千佳子 [b], 姚　閔 [a,b], 山縣ゆり子（次期会長候補）[a], 山口 宏 [a,b], 吉朝　朗 [a,b], 和田　啓 [b]
委任状出席者※：　足立伸一 [a,b], 奥部真樹 [a], 関根あき子 [a,b], 千田俊哉 [a,b], 樋口芳樹 [a,b], 山本雅貴 [a]
欠席者※：井上 豪 [b], 渡邉信久 [a]
議長：菅原洋子（2018・2019 年度会長）
議事録作成者：大原高志
2018 度評議員定数 30：出席 23，委任状出席 6
2019 年度評議員定数 30：出席 25，委任状出席 4
※2018 年度評議員は [a] で, 2019 年度評議員は [b] でそれぞれ表記　　（五十音順）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので，議長は定刻に開会を宣し，下記のとおり議事に入った．また，議事録署名人として玉田評議員が選出された．

議事

報告，審議に先立ち，高良和武元会長，渡邉信久評議員の逝去を悼み黙祷を行った．引き続き，菅原会長と山縣次期会長候補の挨拶，評議員の紹介がおこなわれた．

報告事項

1　幹事報告

1.1庶務幹事報告（大原庶務幹事）

2018 年 10 月 26 日から 2019 年 3 月 26 日までの会員の異動状況が報告された．2019 年 3 月 26 日現在，会員数が 1170（個人会員 1152 名，賛助会員 18 社）である．学会共催等依頼について，協賛依頼 8 件，後援依頼 2 件が報告された．

リガクファンド活用実績報告書を株式会社リガクに提出したことが報告された．報告書は 2018 年度会計が確定した 2019 年 2 月 23 日付で作成し，活動内容や収支についての報告を行ったと説明があった．

会員の慶弔に関する申し合わせとして，歴代会長，名誉会員，現評議員の逝去に際しては，学会誌での周知に加えてご遺族の意向に沿う形での会員へのメール配信による周知を今回行ったことが報告され，申し合わせに追加することが了解された．

日本学術会議学協会連絡協議会の第 9 回理学・工学系学協会連絡協議会が 3 月 28 日に開催

され，学会の法人化に関する問題点や規模の小さい学会の学協会連合についての議論がなされたことと，結晶学会から菅原会長，大原庶務幹事が出席したことが報告された．

1.2会計幹事報告（小松会計幹事）

一般社団法人としての 2018 年度決算（2018 年 2 月 1 日～2019 年 1 月 31 日）が報告され、監査報告書も同時に提示された（別表参照）．単年度収支として，2,561,009 円の黒字となったことが報告された．平成 30 年度当初予算と比べ収支が好転したのは，歳入面で，東工大年会が黒字で開催され 2,024,807 円の行事活動収入が入ったことなどに加え，歳出面で，会誌発行費と運営費とを抑制することができたためである．租税公課については，来年度以降も年会が今年度と同程度の黒字が続くと法人税が発生する可能性があるとの説明がなされた．

学術賞副賞のメダルについて，単価の高騰は素材の銀の価格よりも加工費の高騰が主要因であり，製作業者によっては単価を抑えられる可能性があることから，従来の銀製のメダルを継続することを検討中であるとの報告がなされた．従来の盾が廃番となる進歩賞副賞の盾については，新たに検討中の盾のデザインが紹介された．西川賞副賞のトロフィーについては具体的なデザインについて引き続き検討を進めることとなった．

1.3行事幹事報告（坂田行事幹事）

2019 年 11 月 19～20 日に開催予定の 2019 年度年会, 2019 年 7 月 17～19 日に開催予定の「粉末 X 線解析の実際」2019 講習会，2019 年 7 月 29 日～8 月 2 日に開催予定の第 8 回対称性・群論トレーニングコース, 2019 年 7 月 22～26 日に開催予定の Introduction to Symmetry and Space group, 2020 年 11 月 27～29 日に開催予定の 2020 年度年会(第 70 周年記念大会)それぞれの準備状況が報告された．また, 2021 年度以降の年会として, 2021 年度は北海道大学, 2022 年度は関西学院大学での開催をそれぞれ検討していることが報告された．

2018 年度年会で実施した顕微鏡学会との連携による生物系シンポジウムにおいて，参加者を対象として行ったアンケートの結果が報告された．

1.4編集幹事報告（宮原編集幹事）

2019 年度の学会誌の発行予定および学会からの情報掲載予定が示された．

1.5広報幹事報告（杉本広報幹事）

定期配信メールの配信状況，会員の発案による配信メールの依頼手順，結晶学会が周知されるための取り組みについての検討状況および, IUCr NewsLetter へ投稿予定の広島年会報告記事の準備状況が報告された．

1.6情報幹事報告（岡崎情報幹事）

学会 Web ページのスマートフォン対応やページ構成の見直しなどの改良について報告がなされた．また，各ページのアクセス状況についての報告がなされた．

1.7男女共同参画推進幹事報告（玉田男女共同参画推進幹事）

2018 年度年会におけるティータイムセッションの開催結果について報告された．また，男女共同参画学協会連絡会の第 17 期運営委員会への参加状況および「大学等高等教育機関の入学試験に対する声明」「研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望」への学会からの回答について報告された..

2　AsCA 関係

栗栖 AsCA 評議員より，AsCA 2018 (December 2-5, 2018, Auckland, New Zealand)で開催された AsCA 評議員会における検討内容について報告された.

3　日本学術会議関係

日本学術会議結晶学分科会の上村幹事より 2018 年 12 月 27 日に開催された化学委員会・物理委員会合同結晶学分科会（化学委員会 IUCr 分科会との合同開催）についての報告として，シンポジウム「創薬の加速化を担う構造生物学の最前線」，化学委員会の「情報科学との融合による新化学創成小委員会」，ならびに 5 月に開催予定の分子研所長招聘会議についての説明がなされた．また,「第 24 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」について説明がなされた.

4　IUCr 関係

日本学術会議 IUCr 分科会の菅原幹事より，IUCr2020 に向けての国内員会の活動状況および, 各 Commission の活動状況, IUCr2020 からはじまる若手奨励を目的とした Bragg 賞についての詳細が間もなく発表になるはずであることが報告された.

審議事項

1.　会員異動

2018 年度第 3 回評議員会以降の新規入会者の紹介，入会申込書類の回覧があり，全員の入会が満場一致で承認された.

2.　共催・協賛・後援

別紙記載の協賛・後援依頼 10 件が満場一致で承認された.

3.　「日本結晶学会学会賞規程」の改訂

学会賞進歩賞に対する応募状況や，若手研究者の研究環境の変化に鑑み，学会賞規程の変更について前評議員会に引き続き検討を行った．進歩賞の年齢制限の引き上げや出産・育児・介護等のライフイベントに対する配慮および受賞に必要な会員歴の見直し，学術賞の年齢制限の見直し，会員歴や年齢の算定期日の見直しなどについて審議がなされた．これを受けて幹事会で再度規定の変更案を検討し, 2020 年度からの実施を目指し, 次回の評議員会において継続審議することとなった.

4.　行事関連の項目について

2019 年度の年会実行委員会から以下の項目について承認要請があり，2019 年度年会についてこれらの項目を実施することが満場一致で承認された.

- 年会の名称を”日本結晶学会令和元年（2019 年）度年会および会員総会”とする
- 参加登録費を 2018 年度と同額とする
- 参加登録費振込費用を振込人負担とする
- 「学会誌購読なし」の学生会員に対し，年会参加登録費振込用紙の郵送を取りやめる

また，ポスター賞応募学生の発表をプログラム委員会が口頭発表に選んだ場合，発表者が希望すれば口頭発表とポスター発表の両方を行えるようにすることを実行委員会に要請することとした.

2019 年 7 月 22～26 日に開催予定の Introduction to Symmetry and Space group, 2019 年 7 月 29 日～8 月 2 日に開催予定の第 8 回対称性・群論トレーニングコースを日本結晶学会の主催とするこ

とが満場一致で承認された.

2021 年度の年会を北海道大学で開催することが満場一致で承認された.

5. 情報関連の項目について

結晶学会誌前身の「X 線」および学会誌 50 号まで, ならびに「日本の結晶学－その歴史的展望－」を学会ホームページに掲載することが満場一致で承認された. また, 学会ホームページに掲載する資料の基準, 年会における自前の要旨登録システムの構築について, 引き続き検討を進めることとした.

6. 会計関連の項目について

学会誌なしの学生会員の未納率が 50%を超え, 全体の未納率を押し上げていることから, 入会時の一括納入などの案について審議を行い, 引き続き検討を進めることとした.

学会費の銀行口座自動引き落としについて申込書の学会ホームページへの掲載などによって推進すること, 学会費の郵便振込手数料を学会負担から会員負担に変更すること, 法人化前の郵便振替口座を閉じることが満場一致で承認された.

7. 次期評議員会日程

次回幹事会・評議員会（令和元年度第 2 回評議員会）の日程と会場について, 下記の開催案が提案され, 満場一致で承認された.

日時：2019 年 7 月 6 日（土）幹事会 10:00 – 12:00
評議員会 13:00 – 15:00

場所：東京大学本郷キャンパス

その他

1. 学会賞候補者推薦のお願い

大原庶務幹事より, 2019 年度の西川賞, 学術賞, 進歩賞候補者について推薦の依頼があった.

以上